

◆請願第3号「市民の生命と健康を守る砦、箕面市立病院を守るための請願」に対する賛成討論

市民派クラブの中西智子です。

討論の予定はなかったんですけども、今までの皆さんの討論を聞いていて、私も一言参加をさせていただきたいなと思って、少し意見を言わせていただきます。

私は賛成の立場で討論させていただきたいんですけども、今、内海議員さんのほうからもいろいろご意見があったかと思うんですけども、少しやっぱり聞いていて議論の論点がずれているなというふうに感じます。なぜかといいますと、一つは、市民の皆さんは十分に納得していない。もっとしっかりと説明がほしい。もっともっと意見交換会も含めて市は説明をすべきではないのかなというのが私の大きな思いの一つであります。なぜかというと、統廃合で確かに大きな病院にはなると思います。医療体制も、おっしゃるように充実するかもしれませんが、でも、医療体制が充実することと、市民が求める医療の質がよくなるのかどうかということは別物だというふうに考えているんです。つまり、今箕面の市立病院で働いておられる看護師さんや、あるいはリハビリ職の皆さん、その皆さんの本当に丁寧で親切で、そして非常にスキルの高いそういった医療が、医療の質を上げてきたということもやっぱり否めないというふうに思います。今度統廃合されたときに、そういった医療の質、いわゆるドクターはもちろんそうですけれども、ドクター以外の方々の医療の質が本当に担保できるのかどうかということに対して、私はしっかりと市民の方と市も議論をしながら、ちゃんと納得いくような説明もしていくことがまずは大事だと思います。例えば、川西市の民営化がいいか悪いかというのは、私は、評価はできませんけれども、でもあそこは桁違いの市民説明会を各地域でやってきました。そういうことも含めて、私はまだまだ圧倒的に市民に対する説明、市民との対話、市民の疑問にしっかりと答えていくということが十分できていない段階ではないのかなというふうに考えておまして、その意味で一つはこの請願に賛成しております。

もう一つは、今、市立病院で働いている医療スタッフの処遇の問題です。皆さ

ん考えてみてください。 コロナで本当にしんどいときに一生懸命歯を食いしばって仕事をしてきて、それでその後に分限免職ですよということがどれだけ働いている人たちのダメージになるのか、本当に考えていただきたい。それで、もう一つ(呼ぶ者あり)議論があるんだったらちゃんとして出てきて討論しなさい。あなたも。 それで、私が言いたいのは、今、市立病院の職員の皆さん、箕面市の対応については、誠意がある対応であるとは皆さん思っていらっしゃらないという声を幾つも聞いているんです。そういうことも含めて、付帯決議をつけてくださいましたけれども、その付帯決議がどれだけ効力を発揮しているのかということもちゃんと検証しながら。でも、現状では、病院の職員の皆さん本当に悲壮な思いで、それでも目の前の患者さんを何とかしないとイケないということで、一生懸命歯を食いしばって仕事をされているんです。そういう病院で働いている労働者の皆さんの思いにも寄り添わないとイケないというふうに私は考えておりまして、今回提案をされました請願には賛成をさせていただきました。

以上です。